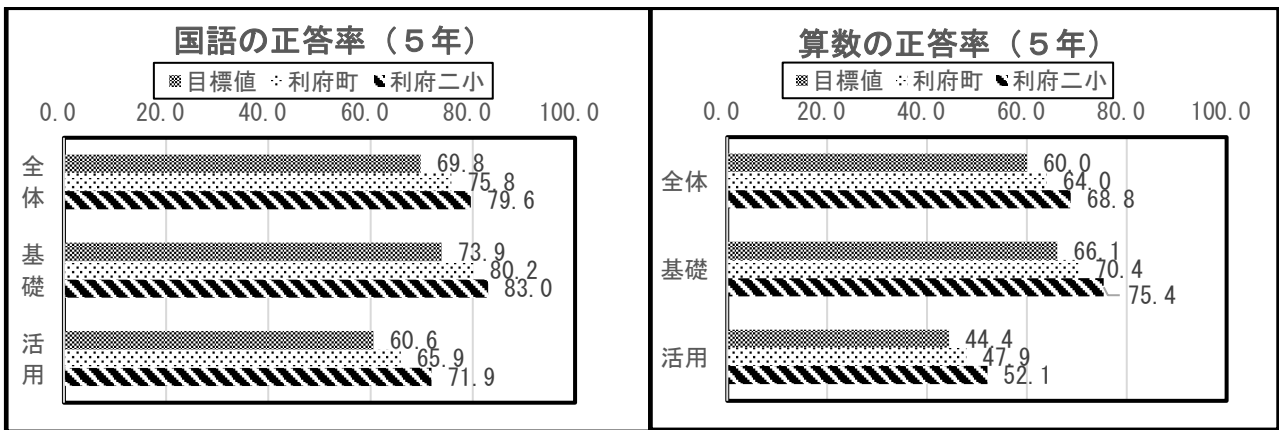


令和4年度 標準学力調査の結果とこれからの取組（5学年）

2学期末に行われた標準学力検査の結果と今後の取組についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。ご家庭でも学習への取り組み方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉を掛けていただければと思います。

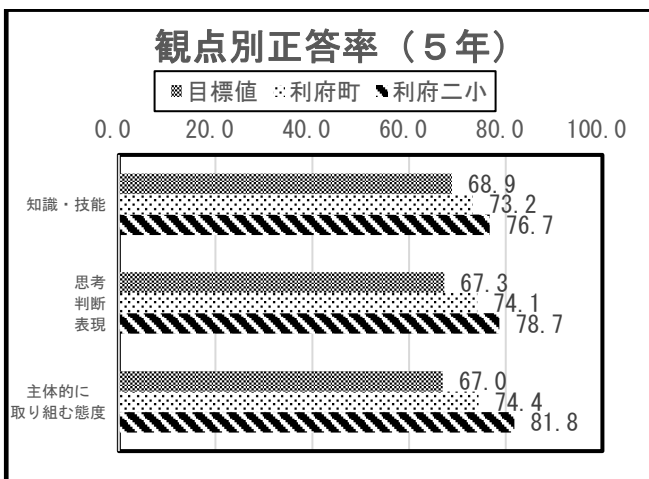
学年全体の結果から

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。



- ・ 国語については、全体で9.8ポイント目標値を上回り、学習内容が身に付いていることが分かりました。基礎問題で9.1ポイント、活用問題で11.3ポイント目標値を上回っています。
- ・ 算数については、全体で8.8ポイント目標値を上回り、学習内容が身に付いていることが分かりました。基礎問題で9.3ポイント、活用問題で7.7ポイント目標値を上回っています。

【国語】 ◎ よくできていた点 ● 課題としてあげられる点

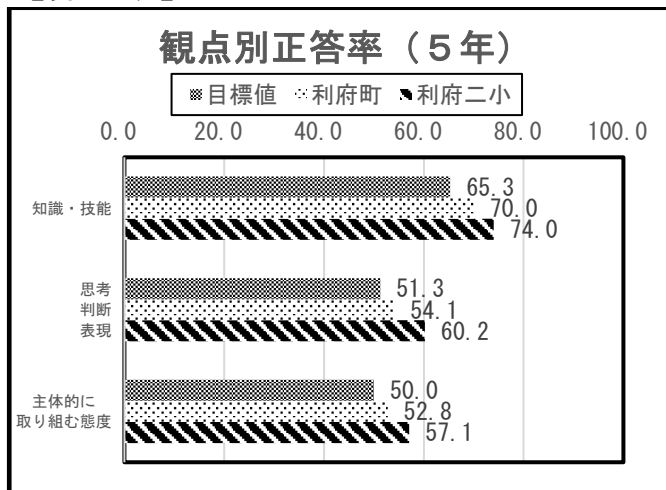


- ◎ 漢字の読みや言葉の意味に関する問題は、目標値より正答率が高くなっています。
- ◎ 記述式の解答に対する正答率が高くなっています。特に、自分の意見を明確して書く問題や、自分の意見の支える理由を明確にして書く問題に対する正答率が高くなっています。
- 「学校新聞を作る」の問題（情報の扱い方に関する事項）では、指定された条件に従って、目的に応じた文章を書くことの正答率が低くなっています。

【算 数】

◎ よくできていた点

● 課題としてあげられる点



◎ 「数と計算」の領域（計算問題）に対しての正答率が高くなっています。特に、「公倍数を求める」「小数のかけ算」「分数たし算・ひき算」に対しての正答率が高くなっています。

● 記述式の解答に対しての正答率が低くなっています。特に「通分をする計算（約分あり）」や「収穫量の多さを比べる問題」「容積を求める問題」に対しての正答率が低くなっています。

● なぜそのような式を立てるのか、計算の仕方を文章で答える問題に対しての正答率が低くなっています。

今後の取組

☆ 国語の学習については、条件を取り入れた作文に取り組むことや、相手の伝えたいことを考えながら聞くことを意識させ、表現力と聞く力の向上を図っていきます。

☆ 算数の学習については、引き続き授業や宿題を通して、算数の用語や定義、数の仕組みなどの理解と定着を図り、なぜそうなるのかを説明することができるように力を伸ばしていきます。

☆ 漢字の読み書きや計算等の力の更なる定着を図るために、宿題やスキルタイム等を利用して、継続して練習に取り組ませていきます。また、放課後の時間を活用して個別に対応していきます。

個人票『あなたの結果』の見方

① 教科正答率 (%)

すべて正解の場合は100%になります。あなたの欄のお子さんの数値と目標値（到達してほしい数値）を比較しておおよその目安としてください。

右側の「児童のみなさんへ」の文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

② 内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により、3段階で表されています。特に▲だった内容が確実には身に付いていないことを表します。

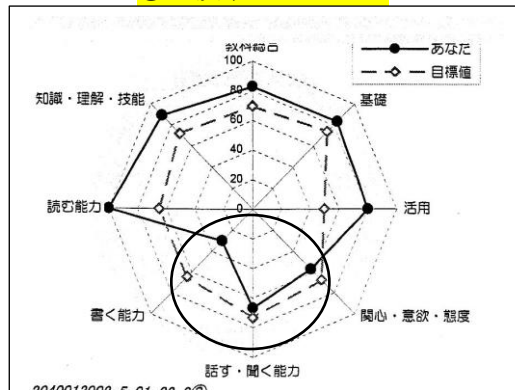
表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学习に取り組む際の参考にしてください。

(例) 小学校1年 さんすう

問題の内容	正答率 (%)		評価
	あなた	目標値	
20までのかず	80.0	82.5	○
たしざん	87.5	77.9	◎
ひきざん	65.4	81.4	▲
▲の評価であるひき算の学習が確実には身に付いていないことがわかります。			
総合	78.5	79.5	○

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。

③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値（○の中の部分）は目標に届かなかったことを表します。